

科目名	倫理学概論Ⅰ			担当教員	安部 日珠沙	
単位	2単位	講義区分			ナンバリング	ED2SPE204
期待される学修成果	教科教育 自己形成					
アクティブラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	(1) 倫理学の基礎的・基本的な知識を身に付ける。 (2) 倫理的なものの見方や考え方が自分でもできるようになる。 (3) 倫理学に関する自分の意見を、自らの言葉で適切に表現したり説明したりできるようになる。					
授業の概要	倫理学とは、「何が善くて、何が悪いのか」「善悪など人それぞれ、時代や国・地域によって違うのではないか」「道徳的に生きることの意味があるのか」などといった、人間の生き方や在り方にまつわる様々な問題について、理論的に考え、答えを導き出そうとする学問である。本授業では、人間の生き方や在り方に大きな影響を与える善悪の概念を中心的に取り扱い、倫理学の基礎的・基本的な知識を習得するとともに、グループワークを通じて、自ら倫理的に考え判断するための資質や能力を培うことを目指す。					

授業計画	
第1回	ガイダンス：本授業の進め方の説明／なぜ「倫理学」を学ぶのか
第2回	現代における倫理：道徳教育と善悪の判断
第3回	善悪の基準（1）ソクラテス
第4回	善悪の基準（2）プラトン
第5回	善悪の基準（3）アリストテレス
第6回	グループワーク（1）善悪と徳の関係性について（第3回～第5回のまとめ）
第7回	善悪の基準（4）善悪二元論
第8回	善悪の基準（5）プロティノス
第9回	善悪の基準（6）アウグスティヌス
第10回	グループワーク（2）神的存在を基準とした善悪の捉え方について（第7回～第9回のまとめ）
第11回	善悪の基準（7）カント
第12回	善悪の基準（8）シェリング
第13回	善悪の基準（9）ヘーゲル
第14回	グループワーク（3）ドイツ観念論における善悪の捉え方について（第11回～第13回のまとめ）
第15回	まとめ：振り返りと自分の意見の明確化

事前学修	2時間	前時の授業内容を復習しておく。また、本時の授業内容の予習として、上記「授業計画」の哲学者の業績について書籍・インターネットなどを用いて調査・確認しておく。
事後学修	2時間	前時の授業内容と比較検討しながら、授業資料等をもとに本時の授業内容を復習する。また、講義内容やグループワーク等を通じて得られた知識や見解などを踏まえ、授業テーマに関する理解を深め、自らの意見を洗練させていく。
フィードバックの方法	(1) リアクションペーパーを通じて寄せられた意見や質問等については、次回の授業開始時に回答・説明を行う。 (2) 第15回目の授業課題については、羽島教務課を通じて返却を行う（詳細は後日連絡）。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない。
上記以外の試験・平常点評価	100%	追加補足事項に記入。
補足事項	(1) 授業への参加態度等（15点）、発言および他者の意見への傾聴などディスカッション・発表・質疑応答への積極性（60点）、選択テーマに関する論述（25点）。	

(2) 毎回リアクションペーパーを配布するので、授業内容に関する疑問・意見・感想等を記して提出すること。リアクションペーパーの内容については、次回の授業で適宜コメントする（出席票として扱うため、未提出の場合は欠席扱いとする）。

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし

参考資料	必要に応じて適宜授業内で紹介する。
------	-------------------

科目名	倫理学概論Ⅱ			担当教員	安部 日珠沙	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2SPE405
期待される学修成果	教科教育 自己形成					
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	(1) 倫理学に関する基礎的・基本的な知識について理解した上で適切に説明することができるようになる。 (2) 様々な倫理的課題を、自らが生きる上での問題として吟味し、自分なりの規範を提起することができるようになる。 (3) 様々な倫理的課題に関する自分の意見を、根拠を明確にしながら、自らの言葉で適切に表現したり論理的に説明したりすることができるようになる。					
授業の概要	倫理学は、社会において他の人々とより善く生きていくための価値規範の妥当性を、一人一人が当事者意識をもって探究する学問である。重要なのは、人間がより善く、より正しく生きる上での自らの価値規範を持つことであり、倫理学を机上の空論におとしめず、実践にまで高めていくことである。本授業では、現代を生きる私たちに深い関わりを持ちうるテーマを取り上げ、ディスカッション等を通じて、そのために必要な倫理的事柄に対する考察と理解の深化を目指す。					

授業計画	
第1回	ガイダンス：本授業の進め方の説明
第2回	宗教と倫理
第3回	ギュゲスの指輪（1）プラトン『国家』における思考実験
第4回	ギュゲスの指輪（2）ディスカッション
第5回	ギュゲスの指輪（3）発表・質疑応答
第6回	嘘をつくこと（1）ディスカッション
第7回	嘘をつくこと（2）発表・質疑応答
第8回	環境倫理学（1）ディスカッション
第9回	環境倫理学（2）発表・質疑応答
第10回	生命倫理学（1）ディスカッション
第11回	生命倫理学（2）発表・質疑応答
第12回	そもそも善とは何か？（1）G.E.ムーアのメタ倫理学
第13回	そもそも善とは何か？（2）ディスカッション
第14回	そもそも善とは何か？（3）発表・質疑応答
第15回	まとめ：振り返りと自分の意見の明確化

事前学修	2時間	自分の意見を吟味し、他の学生に積極的に表明したり、活発にディスカッションしたりするために、授業テーマ（キーワード）について、文献やインターネット等を用いて調べたり、授業に持ち込む資料を収集したりしておく。
事後学修	2時間	ディスカッション、発表、質疑応答などを通じて得られた知識や見解などを踏まえ、授業テーマに関する自身の意見や考えをブラッシュアップする。
フィードバックの方法	(1) リアクションペーパーを通じて寄せられた意見や質問等については、次回の授業開始時に回答・説明を行う。 (2) 第15回目の授業課題については、羽島教務課を通じて返却を行う（詳細は後日連絡）。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない。
上記以外の試験・平常点評価	100%	追加補足事項に記入。

補足事項	(1) 授業への参加態度等（15点）、発言および他者の意見への傾聴などディスカッション・発表・質疑応答への積極性（60点）、選択テーマに関する論述（25点）。 (2) 毎回リアクションペーパーを配布するので、授業内容に関する疑問・意見・感想等を記して提出すること（出席票として扱うため、未提出の場合は欠席扱いとする）。
------	---

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	必要に応じて授業内で適宜紹介する。			